

## 凡事徹底

先日、全国高等学校バスケットボール選手権大会兵庫県予選に出場している男子バスケットボール部の応援に神戸の県立高校へ行ってきました。バスケットボールはご存じの通り5人でプレーをし、スピードとハイスコアなゲーム展開が魅力とされています。

本校の男子バスケット部もメンバーをどんどん入れ替えながら、ベンチも一体となってまさしく全員バスケットを展開していました。とにかくよく走っていました。ゲームが荒れそうになっても、**試合中のベンチミーティングでは、「冷静に自分たちのプレーをしよう。」「ノーファールで！」**という声を自分たちでかけ合っていました。もちろん、顧問である監督の先生も話をし、声をかけますが、下の写真にあるように**自分たちで試合中に話をし、プレーを修正しようとする場面も多く見られました。**

バスケットは瞬時に「パス」「ドリブル」「シュート」を判断してプレーをしなければならない場面が多いです。味方や相手のポジション、動きを瞬時に読み取り、判断し、プレーします。したがって、**味方同士のアイコンタクトなど、常に色々な形での選手同士のコミュニケーションが必要になってきます。**そういった意味でも自分たちで考え、お互いにアドバイスをしながらゲームを組み立てていくことも大切になってきます。

顧問の先生は、特に「**凡事徹底**」と「**まわりに関心を持つこと**」を部員には言っているそうです。当たり前のことを徹底してきちっと行う。特にずば抜けた選手がいるわけではないので、**一人ひとりがすべきことを徹底して、チーム全員で一戦一戦大事にし、目標目指して取り組むことが大切であると。**常日頃から**自分のことだけでなくチームメイトやまわりのことに関心を持つこと。それが視野の広いプレーにもつながること。**

二回戦まで全員バスケットで勝ち進み、いよいよシード校との対戦です。凡事徹底とまわりに関心を持つことに取り組んできた成果を発揮し、自分たちのバスケットを出し切って、この難局を乗り切りたいと思います。





# 2022 AMAGASAKI CUP



